



# 「医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き」 成果発表シンポジウム ～ 研究成果を確かに発信する工夫 ～

## 開催趣旨

国民が健康な生活を送り、医学系研究を促進するためには、研究者と一般の間にある研究に関する理解のギャップを減らすことが重要です。しかし、医学系研究の理解には用語の難解さや、研究に関する知識が一般的でないことなど、様々な問題があります。この課題への対処法として、研究者が医学系研究の成果をわかりやすく発信するために配慮すべき観点と、用語の理解に関する実態調査に基づいた対処法をまとめてきました。今回のシンポジウムでは、本年度の研究事業で検討してきた「医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き」を説明します。さらに、市民、メディア、研究者といったステークホルダー間の対話を通じ、研究者や研究機関等がこの手引きを使用し、継続的に改善するための課題を探ります。

日本医療研究開発機構 令和3年度研究開発推進ネットワーク事業

「医学研究成果をわかりやすく発信する手引きの提案」 <https://ez2understand.ifi.u-tokyo.ac.jp>

## 主催

東京大学

## 開催概要

日時：2022年3月24日(木) 14:00-15:30(13:45開場) ZOOMウェビナーによるオンライン開催

対象：臨床研究支援病院、大学等研究機関、大学病院、患者団体、一般

定員：500名(定員になり次第、受付を終了します)

参加申込：要事前申込(参加無料)。下記参加申込フォームからお申込みください。

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/12104/>

※登録完了後、前日までに招待URLをお送りします。



お問合せ：東京大学 未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット事務局

E-mail: [dh-jimu@ifi.u-tokyo.ac.jp](mailto:dh-jimu@ifi.u-tokyo.ac.jp)

## プログラム

開会

[敬称略]

事業成果の説明

東京大学未来ビジョン研究センター 特任准教授 井出博生

それぞれの立場からのコメント

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子

明治大学国際日本学部 専任教授 田中牧郎

一般社団法人メディカルジャーナリズム勉強会 研究開発部長 市川衛

国立国際医療研究センター研究所 糖尿病情報センター医療政策研究室 室長 杉山雄大

パネルディスカッション;「医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き」の活用について

コーディネーター 東京大学医学部附属病院 助教 山田恵子

閉会

※プログラムは都合により変更になる場合があります。